

193年

初平四年（漢）

皇帝

劉協（漢獻帝）

皇后

（空位）

皇太子

（空位）

三公

太傅：馬日?（前太尉・録尚書事・192~194）

太尉：周忠（前光祿大夫・192~193） 朱儁（前太僕・193~194）

司徒：淳于嘉（前司空・192~194）

司空：楊彪（前光祿大夫・192~193） 趙溫（前太常・193） 張喜（前衛尉・193~196）

その他の要職

録尚書事：

馬日?（太傅・192~194）

周忠（太尉・192~193） 朱儁（太僕・193~194）

太常： 趙溫

光祿勳：

衛尉： 張喜

太僕： 朱儁

廷尉：

大鴻臚：

宗正：

大司農：

少府：

大司馬：劉虞（死亡・空席）

大將軍：

驃騎將軍：

車騎將軍：

衛將軍：

地方官

冀州牧：袁紹(191~202)

?州牧：曹操（前東郡太守）

司隸校尉：？

荊州牧：劉表(192~208)

揚州刺史：陳温(190?~193)《三国志魏書武帝紀》（死亡）

徐州牧：陶謙

主な事件

- ▶ 初平四年春正月甲寅朔、日食有り《後漢書孝献帝紀》
- ▶ 正月丁卯、天下に大赦す《後漢書孝献帝紀》
- ▶ 三月、袁術が揚州刺史の陳温を殺し、淮南に拠る《後漢書孝献帝紀》
- ▶ 長安宣平城門の外屋が自ずと壊れる。
注に引く三輔黄圖によれば長安城の東面の最も北の門である《後漢書孝献帝紀》
- ▶ 夏五月癸酉、雲もなく雷《後漢書孝献帝紀》
- ▶ 六月、扶風に大風、雨と雹が降る。華山が崩れ裂ける《後漢書孝献帝紀》
- ▶ 太尉の周忠が免じられ、太僕の朱雋を太尉・録尚書事と為す《後漢書孝献帝紀》
- ▶ 下?の賊闕宣が自ら天子を称す《後漢書孝献帝紀》下?闕宣が衆數千人を集め自ら天子を称する。徐州牧の陶謙は共に擧兵し泰山の華、費を取り、任城を略す。《三国志魏書武帝紀操》
- ▶ 雨水あり。侍御史の裴茂を獄に遣わし、軽い罪で繋がれているものを赦した《後漢書孝献帝紀》
- ▶ 六月辛丑、天狗が西北へ行く。
注に引く前書音義曰く、声のあるものを天狗、声の無いものを枉矢という《後漢書孝献帝紀》
- ▶ 九月甲午、儒生四十余人を試験し、上位のものに郎中を、次ぐものに太子舎人を、下位のは罷めさせた。《後漢書孝献帝紀》
- ▶ 秋、曹操は陶謙を征伐する。十餘城を降し、陶謙は城を守ってあえて出ず《三国志魏書武帝紀操》
- ▶ 冬十月、大挙が儀礼を行ない、車駕は永福城門に御幸し、その儀礼を觀覽した。博士以下格差あって賜り物があった。《後漢書孝献帝紀》
- ▶ 辛丑、京師に地震あり。流星が天市に見られた《後漢書孝献帝紀》
- ▶ 司空の楊彪を免じ、太常の趙温を司空と為す《後漢書孝献帝紀》
- ▶ 公孫讚*が大司馬の劉虞を殺す《後漢書孝献帝紀》
- ▶ 十二月辛丑、地震。《後漢書孝献帝紀》
- ▶ 司空の趙温が免じられる《後漢書孝献帝紀》
- ▶ 乙巳、衛尉の張喜を司空と為す《後漢書孝献帝紀》
- ▶ 是歳、琅邪王の劉容が亡くなった《後漢書孝献帝紀》
- ▶ 是歳、東海懿王の劉祗は、子の劉[王宛]を長安に遣わし、奉章する。献帝は劉[王宛]を?陽侯に封じ、平原相と為す《後漢書十王列伝東海恭王彊》
- ▶ 是?、孫策は袁術の命を受けて長江を渡り、數年の間に江東を擁す《三国志魏書武帝紀操》

誕生者

死没者

劉虞（大司馬・東海[炎]]県・戦没）
劉容（琅邪王）

[PAGE TOP](#)

[192年 <<](#) [>> 194年](#)